

埼玉労福協 2022 年度事業報告

【2022年4月1日～2023年3月31日】

はじめに

新型コロナウイルス感染症との闘いは、未だその克服を見るに至っていませんが、5月8日からは、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類に移行されました。今後の日常における基本的な感染対策は、個人や事業者の判断に委ねることが基本となり、自主的な取り組みをベースにしたものに転換されます。

一方、「コロナ禍、物価高、円安」の「三重苦」が私たちの日々の生活を苦しめ続け、すべての働く人は勿論、特に弱い立場・不安定な立場にある人々の雇用と生活に深刻な打撃を与えています。コロナウイルスと共存せざるを得ない社会において、私たちは人と人のつながりを大切にする運動を推進するために、フォーラムや会議等の開催にあたり、リモート方式やオンラインなど新たなツールを有効に活用するなど創意工夫をこらし、2022年度事業を推進してまいりました。

以下、2022年度事業計画に沿って報告いたします。

I. 諸会議の開催について

埼玉労福協は定款に沿った組織運営を行うために、定時（第16回）社員総会、理事会、専門委員会を開催し、理事会への報告・提案を行ってまいりました。

2022年度は、理事会を6回（第81回～第87回）開催いたしました。

1. 社員総会の開催

会議名	開催日・会場	議 題 等
第16回 定時社員総会	2022年 5月27日（金） <会場> ときわ会館 <出席者> ◇議決権行使者 9名中 9名 ◇理事 17名中 14名 ◇監事 2名中 2名	【決議事項】 1. 2021年度「事業報告」について 2. 「貸借対照表」の承認について 3. 2021年度会計報告ならびに「会計監査報告」について 4. 2022年度役員報酬の上限について 5. 任期満了に伴う理事・監事の選任について 【報告承認事項】 1. 2022年度「事業計画」について 2. 2022年度「収支予算」について

2. 理事会の開催

会議名	開催日	議 題 等
第1回 理事会 (通算 81 回)	2022 年 5 月 12 日 (木)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第 16 回定時社員総会の開催について 2. 福祉フォーラム 2022 の開催について 3. 職員の給与時間額改定について 4. 埼玉協同労働推進ネットワークへの会員登録について 5. 「ネットワーク S A I T A M A 2 1 運動」2022 年度第 1 回評議員会の開催ならびに 2022～2023 年度評議員の選出について
第2回 理事会 (通算 82 回)	7 月 13 日 (水)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第 16 回定時社員総会議事録の確認について 2. 2021 年度政策・制度要請埼玉県回答ならびに評価について 3. 2022 年度埼玉県に対する政策・制度要請(素案)について 4. 2022 年度企画委員会委員の選任について
第3回 理事会 (通算 83 回)	8 月 31 日 (水)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2022 年度政策・制度要請(案)について 2. 2022 全国福祉強化キャンペーンの実施について 3. 2022 年度役職員研修会の開催について 4. 教育フォーラム 2022 の開催について
第4回 理事会 (通算 84 回)	11 月 2 日 (水)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第 17 回定時社員総会の「日時・会場」について 2. 防災セミナー 2023 「災害から得たものを未来へ繋ぐ」の開催について 3. 緑のトラスト運動協賛カンパ活動への取り組みについて 4. 労働者福祉東部ブロック協議会「第 57 回定期総会」代議員の選出ならびに役員就任について 5. 日本難病・疾病団体協議会(J P A)国会請願署名活動への協力について
第5回 理事会 (通算 85 回)	2023 年 1 月 19 日 (木)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2023 年度理事会等の日程案について 2. 福島県復興支援員事業、富岡町県外避難者支援事業の受託について
第6回 理事会 (通算 86 回)	3 月 30 日 (木)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 理事の辞任について 2. 2023 年度事業計画(案)について 3. 2023 年度「会費及び納入方法」について 4. 2023 年度地域労福協活動助成金について

		5. 福島県復興支援員事業、富岡町県外避難者支援事業の受託について 6. 職員の雇用契約更新について 7. 2023年度収支予算（案）について 8. 2023年度役員体制について 9. 人権尊重社会をめざす県民運動推進協議会委員の派遣について 10. 2022年度「緑のトラスト基金」への寄付について
--	--	---

3. 三役会議の開催

会議名	開催日	議 題 等
第1回 三役会議	2022年 5月9日（月）	1. 第1回理事会議案について
第2回 三役会議	7月6日（水）	1. 第2回理事会議案について
第3回 三役会議	8月29日（月）	1. 第3回理事会議案について 2. 結成50周年記念事業について 3. 企画委員会の開催日程について
第4回 三役会議	10月28日（金）	1. 第4回理事会議案について
第5回 三役会議	2023年 1月12日（木）	1. 第5回理事会議案について
第6回 三役会議	3月24日（金）	1. 第6回理事会議案について

4. 専門委員会の開催

(1) 企画委員会

①構成メンバー

近藤嘉理事長、谷内聡副理事長、金井浩副理事長

佐藤道明専務理事、新坂洋一事務局長、佐藤宏事務局次長

会議名	開催日	議 題 等
第1回 企画委員会	2022年 10月28日（金）	1. 事業活動における支出状況について 2. 地域労福協2021年度決算状況について
第2回 企画委員会	2023年 1月12日（木）	1. 事業の見直し・削減について 2. 地域労福協（総会議案書用）会計科目モデルについて

第3回 企画委員会	3月24日（金）	1. 2017～2021年度正味財産増減計算書について 2. 会費等収入の推移について 3. 震災支援事業（受託事業）の推移について 4. 東武動物公園チケット販売の推移について 5. 役員報酬・給与手当等、管理費の推移について
--------------	----------	--

（2）事業団体実務推進連携会議

事業団体実務推進連携会議は事業団体間の情報交換と「協同事業」のために開催するもので、2022年度は4回の開催となりました。

①構成メンバー

- 山岸 修（中央労働金庫埼玉県本部）
- 中山 豊（こくみん共済 coop 埼玉推進本部）
- 松本幸一（埼玉県勤労者福祉センター）
- 大川晋史（パルシステム埼玉）
- 林 岳人（医療生協さいたま）
- 小川勇氣（日本労働者協同組合連合会センター事業団埼玉事業本部）
- 酒井 勉（日本労働組合総連合会埼玉県連合会）
- 佐藤道明（埼玉労福協）
- 新坂洋一（埼玉労福協）
- 佐藤 宏（埼玉労福協）

②会議の開催状況

会 議 名	開 催 日
第1回事業団体実務推進連携会議	2022年 6月 28日（火）
第2回事業団体実務推進連携会議	2022年 9月 30日（金）
第3回事業団体実務推進連携会議	2022年 12月 19日（月）
第4回事業団体実務推進連携会議	2023年 3月 28日（火）

5. 埼玉県の審議会・委員会、関係団体等への役員等の派遣

派遣団体等の名称	役 職	氏 名
公益財団法人埼玉県健康づくり事業団	理 事	近藤 嘉
公益財団法人埼玉県国際交流協会	評議員	近藤 嘉
社会保険診療報酬支払基金埼玉支部	委 員	佐藤 道明
人間尊重社会をめざす県民運動推進協議会	委 員	沼尻 俊彦 佐藤 道明
埼玉県勤労者生活協同組合	理 事	佐藤 道明
一般財団法人埼玉県勤労者福祉センター	理 事 評議員	佐藤 道明 佐藤 宏
埼玉県住まい安心支援ネットワーク	委 員	新坂 洋一
埼玉県多重債務対策協議会	委 員	新坂 洋一

Ⅱ. 2022年度の具体的な事業展開

1. 共生の地域社会づくりを推進する事業

(1) ライフサポートステーションネット21事務所(久喜・川越・熊谷・大宮)を活用して勤労者のための事業に取り組みました。

特に、県内勤労者をはじめ県民全体を対象とした「無料法律相談会」を、2022年4月9日から2023年3月16日までの間、ネット21事務所(川越・熊谷・大宮)において開催しました。県内3会場において延べ36回開催し69件の相談がありました。

(2) ホームページを活用した勤労者のための「くらしの相談ネット」で紹介している相談先の掲載内容について、点検・修正を行いました。

(3) 共生の地域社会づくりを進めるため、県内のNPO法人や諸団体との連携を図りました。

◆一般社団法人日本難病・疾病団体協議会が取り組む請願署名「難病・長期慢性疾患・小児慢性特定疾病対策の総合的な推進を求める請願書」に協力し、社員団体ならびに地域労福協の協力を得て、7,839筆の署名を集めることができました。

◆県内のNPO法人や諸団体の活動状況について情報を得るために、認定NPO法人さいたまNPOセンターとの連携を図りました。

◆共生の地域社会づくり事業として、NPO法人(ハンズオン埼玉)と生協(パルシステム埼玉)、埼玉労福協によるコラボ企画「おとうさんの焼き芋タイム(10団体への提供)」を実施しました。

◆認定NPO法人彩の子ネットワークが主催する「こども★夢★未来フェスティバル2023」の開催(3月11日~12日)に協賛団体として協力しました。

◆NPO法人クッキープロジェクトが開催する「クッキーバザール」に協賛団体として協力しました。

◆NPO法人フードバンク埼玉の定期総会・理事会・運営委員会に出席するとともに、食品支援・寄贈への対応および食品配送の業務など、運営や日常的な活動に協力しました。

《NPO法人フードバンク埼玉の総会・理事会・運営委員会への出席状況》

会議名	開催日
第6回定期総会	2022年 6月 27日(月)
2021年度第4回理事会・第6回運営委員会	2022年 5月 25日(水)
2022年度第1回理事会・第1回運営委員会	2022年 7月 28日(木)
第2回運営委員会	2022年 9月 26日(月)
第2回理事会・第3回運営委員会	2022年 11月 14日(月)
第3回理事会	2023年 2月 24日(金)

- (4) 埼玉県多重債務対策協議会による「多重債務者相談強化キャンペーン 2022」の取り組みとして、11月23日に埼玉県教育会館において相談会を開催しました(相談1件)。また、年7回の協議会に出席しました。

《会議への出席状況》

会議名	開催日	会場
第135回対策協議会	2022年5月17日(火)	埼玉県庁職員会館
第136回対策協議会	2022年7月12日(火)	埼玉弁護士会館
第137回対策協議会	2022年9月13日(火)	埼玉県庁職員会館
第138回対策協議会	2022年10月18日(火)	埼玉県庁職員会館
第139回対策協議会	2022年11月15日(火)	埼玉弁護士会館
第140回対策協議会	2023年1月17日(火)	埼玉弁護士会館
第141回対策協議会	2023年3月14日(火)	埼玉弁護士会館

2. 勤労者の福祉向上を目的とする事業

- (1) 埼玉県中小企業勤労者福祉サービスセンター協議会事業への参加を通じ、県内中小企業で働く労働者のための福祉施策の向上に努めました。

《総会・会議への出席状況》

会議名	開催日	会場
令和4年度総会	2022年5月13日(金)	狭山市産業労働センター
第1回事務局長会議	2022年7月14日(木)	狭山市産業労働センター
第2回事務局長会議	2023年3月7日(火)	熊谷市立勤労会館
第1回担当者会議	2022年6月21日(火)	上尾市文化センター
第2回担当者会議	2022年11月8日(火)	サンライフ川越
第3回担当者会議	2023年2月14日(火)	狭山市産業労働センター

- (2) 埼玉県中小企業勤労者福祉サービスセンター協議会が共同購入する「東武動物公園法人アトラクションパスセット」や「こども商品券」、「ミスタードーナツ商品券」の購入に協力しました。

- (3) 埼玉労福協「第1回中小企業勤労者福祉サービスセンター推進会議」を、2023年2月8日に開催し、サービスセンター協議会ならびに各サービスセンターの活動について共通認識を図りました。

3. 労働団体や労働者福祉事業団体による労働者福祉活動の推進、及びその連絡調整に関する事業

- (1) 労働組合と事業団体が「ともに運動する主体」として関係を強化するため、事業団体実務推進連携会議を開催しました。
- (2) 「2022全国福祉強化キャンペーン」の取り組み方針に沿って、2022年9月28日に連合埼玉に対し、埼玉労福協、中央労働金庫埼玉県本部、こくみん共済coop埼玉

玉推進本部の3者連名で、「労働者福祉運動強化」に向けた要請を行いました。

- (3) <中央ろうきん>埼玉県本部NEWSやこくみん共済coop<全労済>「自然災害への備えについて」など、ホームページに掲載し活動の周知を行いました。
- (4) 協同労働を推進するため、埼玉協同労働推進ネットワークを設立し、その運営に参加しました。また、埼玉県議会自由民主党議員団政務調査会長や首長との懇談等、ワーカーズコープと連携して、「労働者協同組合法」の周知活動に取り組みました。

《埼玉協同労働推進ネットワーク開催状況》

会議名	開催日	会場
設立総会	2022年6月4日(土)	さいたま市プラザウエスト
準備会	2022年4月20日(水)	Web参加
	2022年5月18日(水)	Web参加
運営委員会	2022年8月23日(火)	Web参加
	2022年9月26日(月)	ワーカーズコープ埼玉事業本部
	2023年3月20日(月)	ワーカーズコープ埼玉事業本部

《首長との懇談状況》

自治体名	対応者	訪問日
埼玉県	大野知事	2022年8月22日(月)
深谷市	小島市長	2022年4月25日(月)
鴻巣市	原口市長	2022年5月16日(月)
坂戸市	石川市長	2022年5月24日(火)
志木市	香川市長	2022年5月30日(月)
さいたま市	清水市長	2022年6月15日(水)
狭山市	小谷野市長	2022年6月20日(月)
秩父市	北堀市長	2022年7月8日(金)
川口市	奥ノ木市長	2022年9月5日(月)
鴻巣市	並木市長	2022年12月16日(金)



埼玉県知事との懇談

(5) 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、医療現場への支援活動として「医療生協さいたま」に不織布マスク 50 枚入り 20 箱の支援活動に取り組みました。

このマスクは、災害ボランティア団体「彩の国会議」からの寄付情報により、パナソニックホールディングス株式会社より寄贈されたものです。

4. 社会保障及び労働者福祉についての調査、研究及び啓発事業

(1) より広い視点に立って、今後社会保障において強化すべき機能や、多様な社会参加と多様な主体による協働を推進することを目的に「福祉フォーラム2022～地域共生社会の実現に向けて～」を開催しました。

日 時 2022年7月13日(水) 13時15分～16時30分

場 所 ときわ会館 大ホール (ハイブリッド)

参加者 計118名 (会場参加者54名、Web参加者64名)

内 容 ①基調講演

テーマ:「地域共生社会への協同組合の役割」

講 師:宮本 太郎 氏 (中央大学法学部教授)

②講 演

テーマ:「持続可能で活力ある地域社会の実現に向けて」

講 師:藤谷 英樹 氏/須賀 貴子 氏 (ワーカーズコープ 埼玉事業本部)



講師:宮本太郎 氏



福祉フォーラム2022「地域共生社会の実現に向けて」

(2) 「ライフプランセミナー」は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催できませんでした。なお、ホームページに掲載している「ライフプラン」に関する資料については、充実を図るとともに周知活動に努めました。

(3) 中央労福協ならびに労福協東部ブロック協議会が主催する集会・研修会に参加しました。

◆中央労福協全国研究集会 in 静岡

日 時 2022年6月2日(木) 14時00分～16時30分

場 所 静岡県コンベンションアーツセンター(ライブ配信)

内 容 テーマ「“TSUNAGARI” 世代を超えて。」

①トークセッション

【ファシリテーター】

日詰 一幸 氏 : 静岡大学学長

【ゲスト】

鈴木 智子 氏 : (一社) 静岡県大学出版会代表

岑永 知早紀 氏 : 静岡大学人文社会科学部 3 年 (学生)

須賀 貴子 氏 : 労協連センター事業団埼玉事業本部事務次長

南部 美智代 氏 : 中央労福協事務局長

②アフタートーク

【ゲスト】

日詰 一幸 氏 : 静岡大学 学長

池富 彰 氏 : 静岡県労福協理事長

高橋 精一 氏 : 中央労福協副会長

◆中央労福協 Web 学習会

	開催日	テーマおよび講師
第 22 回	2022 年 7 月 22 日 (金)	「フリーランスをめぐる課題と政策の方向性」 水町勇一朗 氏 : 東京大学社会科学研究所 教授
第 23 回	9 月 16 日 (金)	「ジェンダーと労働について」 首藤若菜 氏 : 立教大学 教授
第 24 回	10 月 12 日 (水)	「奨学金ガイドブックの活用」 岩重桂治 氏 : 奨学金問題対策全国会議 事務局長
第 25 回	11 月 15 日 (火)	「地域共生社会づくりと相談支援」 神林陽治氏 : 立教大学コミュニティ福祉学部 特任教授
第 26 回	12 月 13 日 (火)	「ひとり親世帯の実態と求められる支援」 赤石千衣子 氏 : 認定 N P O 法人 しんぐるまざあずふぉーらむ 理事長
第 27 回	2023 年 1 月 18 日 (水)	「こども食堂と私たちの地域・社会」 湯浅誠 氏 : N P O 法人全国こども食堂支援センター・ むすびえ 理事長
第 28 回	2 月 6 日 (月)	「気候変動に世界はどう立ち向かうのか」 COP27 in Egypt の解説とこれから」 藤野純一 氏 : 公益財団法人地球環境戦略研究機関 (IGES) サステナビリティ統合センター プログラムディレクター / 上席研究員
第 29 回	3 月 9 日 (木)	「気象予報士が解説する気候変動と気象災害」 ～私たちはどう立ち向かい、どう備えるか～ 岩谷忠幸 氏 : オフィス気象キャスター株式会社 気象予報士

(4) 中央労福協が作成したポスター「2022年度現行社会保険制度の要点」を880部購入し、労働組合や福祉事業団体ならびに地域労福協、ライフサポートステーションネット21事務所(4か所)等に配布しました。

5. 県民の生活福祉及び労働者福祉施策に関する政策・制度要請に関する事業

(1) 埼玉県ならびに市町村に対する政策制度要請内容の検討のため、地域労福協代表者と連合埼玉と共に「政策制度会議」を開催し、分析と議論を行いました。

《政策制度会議の開催状況》

会議名	開催日	会場
第1回政策制度会議	2022年 5月17日(火)	ときわ会館
第2回政策制度会議	2022年 7月27日(水)	Web開催(ときわ会館)
第3回政策制度会議	2022年 9月14日(水)	ときわ会館
第4回政策制度会議	2022年 11月 9日(水)	ときわ会館
第5回政策制度会議	2023年 2月 8日(水)	ときわ会館(ハイブリッド)

(2) 埼玉県に対する政策制度要請ならびに市町村への政策制度要請に取り組みました。埼玉県知事に対しては、「10分野・23項目」の要請書を9月20日に提出するとともに、10月24日には県関係部局との話し合いを行いました。なお、3月30日に書面による回答がありました。また、県内61市町村に対しては、地域労福協より要請を行いました。

(3) 埼玉県議会の3会派に対し、政策制度要請の内容説明と政策実現に向けた協力依頼を行いました。埼玉県議会定例会一般質問において、「子どもの貧困対策の強化」「外国人と共生していく社会づくり」「労働者協同組合への支援強化」「難病や長期慢性疾病の患者への支援強化」に関する質問がされました。

◆無所属県民会議

2022年10月13日(木)

◆埼玉民主フォーラム

2022年10月13日(木)

◆埼玉県議会公明党議員団

2022年10月31日(月)



埼玉県政策制度要請(2022年9月20日)

6. 労働者の教育に関する事業

(1) 教育に対する関心と理解を一層深めるため、埼玉県教育の日を含む教育週間に合わせて「教育フォーラム2022」を開催しました。

本フォーラムは、さまざまな問題にぶつかり、自信を持つことができず、生きづらさを感じることの多い現在を生きる子ども・若者が、自分に自信を持ち、何事にも積極的に取り組んでいける前向きさや社会性を身に着けるために、「自己肯定感」の必要性について学びました。

日 時 2022年11月2日(水) 13時30分～15時00分

会 場 ときわ会館 大ホール (ハイブリッド)

参加者 計138名 (会場参加者48名・Web参加者90名)

内 容 講演：テーマ「自己肯定感をどう高めるか？」

～ ありのままの自分を認める心を養う ～

講師：大久保順一 氏 日本産業カウンセラー協会北関東支部 認定講師



講師：大久保順一 氏



教育フォーラム2022「自己肯定感をどう高めるか？
～ありのままの自分を認める心を養う～」

(2) 奨学金問題の改善に取り組みました。

①中央労福協第24回Web学習会(10月12日開催)に参加し、中央労福協が作成した「もう悩まないで。奨学金返済Q&A」の説明を受けました。

②奨学金にかかわる活動や情報提供をホームページの活用により取り組みました。

◆中央労働金庫が作成した「奨学金のおモテとウラ」

◆中央労福協「奨学金や教育費負担に関するアンケート調査」結果

◆奨学金返済と教育費の負担軽減を求めるプロジェクト「奨学金返済・教育費負担の軽減のための税制支援を求めるオンライン署名活動」

◆埼玉県中小企業等奨学金返還支援事業補助金制度

(2021年度埼玉県への政策制度要請で実現)

7. 文化および芸術の振興に関する事業

(1) 埼玉県が進める緑地保全活動に賛同して「緑のトラスト基金」への募金に取り組み、500,269円をさいたま緑のトラスト協会を通じて「緑のトラスト基金」に寄付しました。

《2022年度の取り組み》

取組団体	募金額
連合埼玉	350,000円
中央労金埼玉県本部・支店	66,762円
こくみん共済coop埼玉推進本部	32,083円
埼玉県勤労者福祉センター	10,000円
中央ろうきんサービス埼玉支社	5,000円
埼玉県勤労者生活協同組合	10,000円
埼玉県生活協同組合連合会	10,000円
埼玉労福協	15,000円
その他有志	1,424円
合計	500,269円

8. 外国諸団体と友好親善を深めるための国際交流に関する事業

財政課題により、2013年度から実施を見送ってきた「東南アジア労働福祉事情視察団」については、今年度も実施を見送りました。

9. 大規模災害からの復興・再生と防災・減災の活動に取り組みます。

- (1) 埼玉県災害ボランティア団体ネットワーク「彩の国会議」が主催する、「第10回協働型災害訓練 in 杉戸 (2023年2月10日～11日)」の開催・運営に協力するとともに、訓練に参加しました。
- (2) 「防災セミナー2023 ～災害から得たものを未来へ繋ぐ～」を開催し、いのちを守り、災害に強い地域をどうつくるのか、東日本大震災・ふくしまの教訓や知見から講演をいただきました。

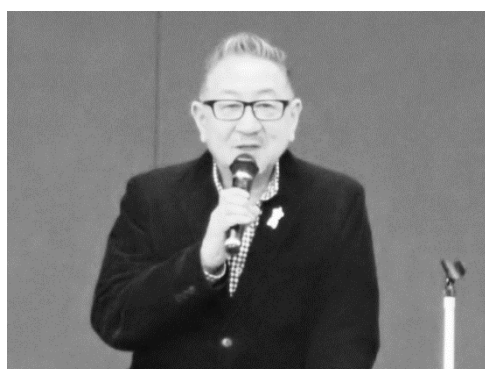
日時 2023年3月13日(月) 13時30分～16時30分

場所 ときわ会館 大ホール (ハイブリッド)

参加者 計110名 (会場参加者27名・Web参加者83名)

内容 講演: 「災害から得たものを未来へ繋ぐ」

講師: 天野和彦氏 福島大学 (地域未来デザインセンター) 客員教授



講師: 天野和彦氏



防災セミナー2023
『災害から得たものを未来へ繋ぐ』

10. 地域労福協（12地域）と連携し全県的な活動の展開をめざします。

（1）地域労福協代表者会議を開催し、労福協としての課題や方針を確認し、地域における労働者福祉の取り組みに結びました。

《地域労福協代表者会議の開催状況》

会議名	開催日	会場
第1回地域労福協代表者会議	2022年 5月 17日(火)	ときわ会館
第2回地域労福協代表者会議	2022年 7月 27日(水)	Web開催（ときわ会館）
第3回地域労福協代表者会議	2022年 9月 14日(水)	ときわ会館
第4回地域労福協代表者会議	2022年 11月 9日(水)	ときわ会館
第5回地域労福協代表者会議	2023年 2月 8日(水)	ときわ会館（ハイブリッド）

（2）熊谷市及び寄居町への地域労福協設置に向け、新地域労福協設立準備会を開催し、連合埼玉「熊谷・深谷・寄居地域協議会」ならびに「深谷地域労働者福祉協議会」との協議を行いました。

日時 2022年6月10日（金）16時00分～17時00分

場所 秩父鉄道労働組合会館

議題 ①地域労福協設立に対する考え方

②設立時期

③設立に向けて議論すべき事項

・ 設立方法

・ 名称

・ 今後、議論すべき事項

（3）地域労福協が開催する幹事会や学習会の際に、労働金庫やこくみん共済coopならびに県内協同組合の運動や商品についての説明会等を行いました。

11. 中央労福協や労福協東部ブロック協議会との連携を強化します。

（1）中央労福協の会議・研修に参加しました。

会議名	開催日	会場
全国研究集会	2022年 6月 2日(木)	Web参加
事業団体・地方労福協合同会議	2022年 7月 7日(木)	Web参加
地方労福協事務担当者研修会	2022年 7月 14日(木)	Web参加
第2回地方労福協会議	2022年 9月 28日(水)	Web参加
第4回ライフサポートセンター責任者連絡会議	2022年 9月 28日(水)	Web参加
第10回加盟団体代表者会議	2022年 11月 25日(金)	Web参加
第3回地方労福協会議	2023年 3月 7日(火)	Web参加

(2) 労働者福祉東部ブロック協議会の会議・研修に参加しました。なお、第57回定期総会において、近藤理事長が副会長に選出されました。

会議名	開催日	会場
第235回幹事会	2022年7月20日(水)	山梨県「ホテル談露館」
事業団体責任者会議	2022年7月20日(水)	山梨県「ホテル談露館」
ライフポート事業経験交流	2022年9月12日(月)	静岡県労働者福祉基金協会
第236回幹事会	2022年10月5日(水)	長野県「上田東急REIホテル」
第237回幹事会	2022年11月30日(水)	茨城県「水戸京成ホテル」
第57回定期総会	2022年11月30日(水)	茨城県「水戸京成ホテル」
第238回幹事会	2023年3月14日(火)	千葉県「オークラ千葉ホテル」
第14期福祉リーダー塾	中止	

12. 一般社団法人としての運営基盤の確立に向けて取り組みます。

- (1) 新型コロナウイルス感染症の影響により、議論を中断していた企画委員会を再開し、事業の見直しと財政基盤の確立、組織のあり方について検討を行い、改善に取り組みました。
- (2) 各種会議の開催にあたっては、効率的な会議運営に心がけるとともに、社員団体相互の理解と連携に努めました。

Ⅲ. その他事業について

1. 2022年度県内避難者支援

(1) 福島県復興支援員事業

2022年度も事業を受託し、復興支援員4名による埼玉県内に避難する福島県民（自主避難や避難指示解除区域の区分けなく）への支援活動に取り組みました。

(2) 富岡町県外避難者支援拠点事業

2022年度も事業を受託し、復興支援員4名と復興支援事業マネージャー1名（労福協臨時職員）による全国に避難する富岡町民への支援活動に取り組みました。

2. 「ネットワークSAITAMA21運動」の普及・定着活動の促進

「ネットワークSAITAMA21運動」は、連合埼玉と埼玉労福協が運動の推進母体として、さらには、中央労働金庫、こくみん共済coop、パルシステム埼玉、さいたまNPOセンターで運営委員会を組織しています。

【埼玉労福協が担当する事業について】

- (1) 運動の財源となる「ボランティアカード（2023年度版）」は、社員団体の協力を得て、埼玉労福協としてAタイプ343枚、Bタイプ75枚の購入協力を行いました。
- (2) 暮らし応援セミナー（出前セミナー）の講師派遣を担当しました。7団体より申し込みがあり、14セミナーを開催し383名が受講しました。

(3) 特別事業として東日本大震災に関する被災者・避難者支援活動を担当しました。

①ファミリー交流会 in 東武動物公園

日 時 2023年2月25日(土) 10時00分～20時00分(閉園まで)

場 所 東武動物公園

参加者 1) 避難者 32名(大人 21名、小人 10名、幼児 1名)
2) スタッフ 11名

②子育て支援「ママランチ会」

日 時 2023年3月9日(木) 12時15分～14時30分

場 所 ロイヤルパインズホテル浦和「テラスダイニング ミケーラ」

参加者 1) 避難者 16名
2) 来賓 福島県 1名
3) スタッフ 9名



ファミリー交流会 in 東武動物公園



子育て支援「ママランチ会」

(4) 夏休み親子自然体験教室「山の学校 in ときがわ」を8月27日(土)に開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。

以上